

製品の機能が十分発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取付けてください。

安全のために必ずお守りください

取付けの前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく取付けてください。

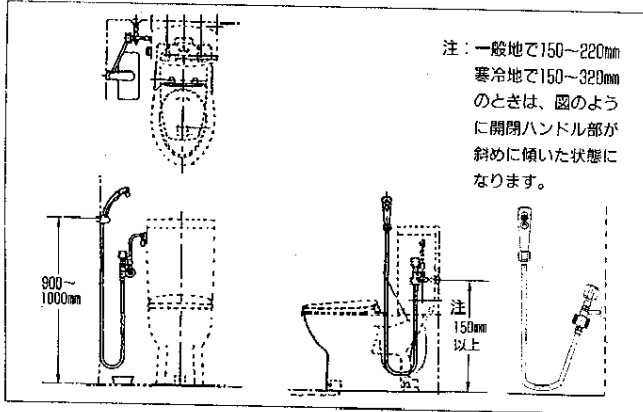
- この説明書では機器を安全に正しく取付けていただくために、必ずお守りいただくことを、△注意の表示によってお知らせしています。

△注意 この表示の欄の内容を無視して誤った取付けをすると、傷害または、物的損害が発生する可能性があることを示しています。

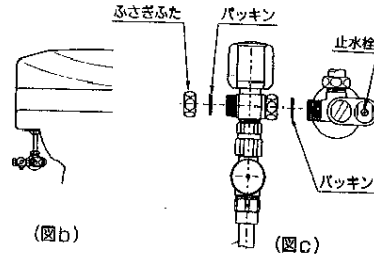
△注意

- (1) 水受けトレイを吐水口の真下に設置してください。吐水口からの水滴により床を濡らすおそれがあります。
- (2) 凍結が予想される際は、水を抜いておいてください。凍結破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。(寒冷地用)

完 成 図

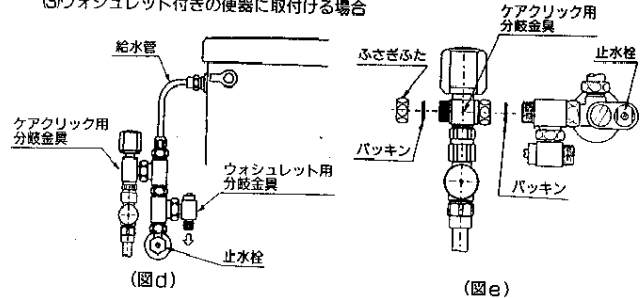


②ワンピース便器 (CS406、406B、406P、406P日関係) に取付ける場合



- ① ロータンク止水栓を閉じて、ふさぎふたとゴムパッキンを外してください。
- ② 分岐金具を図cのようにロータンク止水栓に取付けてください。
- ③ ふさぎふたとゴムパッキンを取付けてください。

③ウォシュレット付きの便器に取付ける場合



- ① ロータンク止水栓を閉じ、ロータンク付きの場合は、給水管をワンピース便器の場合はふさぎふたとゴムパッキンを外してください。
- ② ロータンク付きの場合は図dのようにウォシュレット用分岐金具の上にケアクリック用分岐金具を取付けてください。
- ③ ロータンク付きの場合は給水管を約10mmの差込代を取れる寸法に切り接続してください。ワンピース便器の場合はふさぎふたとゴムパッキンを取付けてください。

使 用 条 件

1. 使用水圧

給水圧力 { 最低必要水圧.....0.07MPa
最高水圧.....0.75MPa

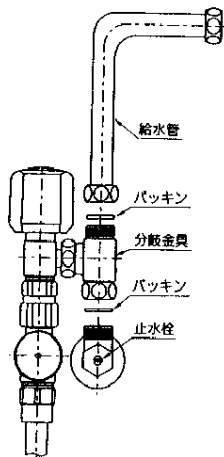
2. 使用水

上水または飲用できる水をご使用ください。

器 具 の 取 付 け

1. 水栓と止水栓の取付け

(1) ロータンク付きに取付ける場合

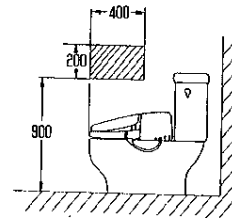


(図a)

- ① ロータンク止水栓を閉じてから給水管を取外してください。
- ② 分岐金具を図aのようにロータンク止水栓に取り付けてください。
- ③ 給水管を約10mmの差込代を取れる寸法に切り、接続してください。

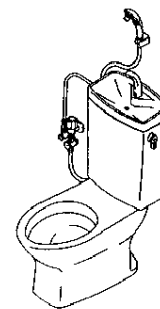
2. シャワーハンガの取付

シャワーハンガは図fの範囲を参考に適切な位置に取付けてください。



(図f)

手洗い付タンクの場合図gのように手洗い近くにハンガを取付けることもできます。



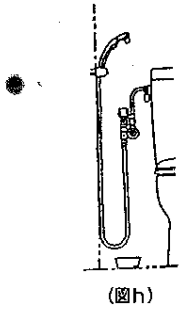
(図g)

△注意

- ・取付面が薄壁の場合は、事前に30mm以上の補強木を入れておいてください。取付けが不安定になり、落下してけがをするおそれがあります。
- ・取付面がタイル・コンクリート壁の場合は、市販のコンクリート用プラグを使用してください。取付けが不安定になり、落下してけがをするおそれがあります。

3. 水受けトレイの設置

水受けトレイは吐水口からの水滴をうけるためのものです。図hのように吐水口の真下に置いてください。



(図h)

寒冷地用水抜き方法

寒冷地の場合は器具内の水を抜くため、水抜き栓を設けてあります。凍結の恐れのある時期に施工された場合は、水抜き栓の操作と合わせて次の要領で水抜きを行ってください。また、お客様にも水抜き方法をご指導ください。

1. シャワーヘッドをハンガにかけておいてください。
2. 洗面器かバケツを準備し水抜き栓の真下に置いてください。
3. 吐水口キャップを外してください。
4. 開閉ハンドルを全開にしてください。
5. 開閉ボタンを開の状態にしてください。
6. シャワーヘッドを上を持ち上げ(床から1.0m程度)十分水を抜いてください。
7. 水抜き栓を反時計方向に回し水を抜いてください。洗面器やバケツに溜った水を便器に捨て水抜きを行ってください。
8. シャワーヘッドを洗面器かバケツの上で振りヘッド内の水を抜いてください。

お手入れ

- 器具がいつまでも美しさを保つように、お客様にお手入れ方法をご指導ください。
1. ふだんはメッキ部を柔らかい布でふき、ときどきミネラル油やカーワックスなどをしみこませた布でふいてください。ただし、樹脂部に付着すると光沢を失うので付着しないよう十分注意してください。
 2. 汚れがひどいときには、適量にうすめた食器用中性洗剤を含ませた布で、ふきとった後、水洗いしてください。
 3. クレンザーやみがき粉など粗い粒子を含んだ洗剤やナイロンたわしなどは使用しないでください。
 4. 酸性洗剤はめっきを侵しますので使用しないでください。もしタイルを酸性洗剤で洗った場合は、すぐにタイル及び器具を十分水洗いしてください。

分解と点検

取付後、万一故障した際は、次の要領で分解及び点検を行ってください。

1. こみづまりはないか
2. ゴミかみはないか
3. ハンドルは全開になっているか
4. ゴミかみはないか

現象	点検項目
流量が少ない	1, 3
水が止まらない	2
ハンドル部から漏れる	4

水受けトレイ (Water catch tray)

(寒冷地品) (Cold climate item)

再生紙を使用しています。

※付属の取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。手渡できない場合は、工事完了後ハンドルなどに吊り下げておいてください。